

## 学校関係者評価

### 1.保護者代表（育友会会長 中村 充）

{令和2年度行事について}

新型コロナの影響があった中ではありましたが、規模の縮小はあれど人数制限・会場変更・新たな設え等の様々な対策を施し、ほぼ全ての行事を開催して頂きましたことを、改めて感謝致します。子ども達も行事の前日などはワクワクして寝つきがおそい夜もあり、非常に楽しい環境の中で行って頂いているのだと感じております。私自身も親として参加する中で、子ども達とのかけがえのない時間を過ごすことができました。

{令和2年度教育について}

中の事はあまり分かりませんが、送り迎えの際に先生方や子ども達が外で元気に遊ぶ様子を見て、屋外で体を思いっきり動かし、元気に遊ぶ事を大事にされているなど感じました。入園したては体の弱かった子ども、年を重ねるごとにとてもたくましく成長していくのを感じました。

{要望として}

父親のサンタモニカの会は継続して頂きたい。父親同士の親交も深まるので。普段の子ども達の様子が見れるように7、Instagram・Facebook・HP等に写真等のUPを検討していただければ。

### 2.近隣の方（城北区区長 小野正美）

本年度は、新型コロナ感染症に関わる多数の情報が日々更新される中、園児のため、そしてその保護者のために、日々、ご尽力していただいているスタッフの方々、先生方には、敬意を表します。特に、仕事を持ち、子どもたちをあずけ、仕事に行かなければならない保護者の方々にとっては、何よりも有難く感じていることと思います。環境面でも、新しい園舎及び、近隣の駐車場整備等、園としての環境整備も充実していたと思います。また、日常の活動では、コロナ禍において、これまで実践されてきた行事の見直しも含め、固定観念にとらわれず、行事の見直しのみならず、これを契機とした働き方改革をも模索されている姿勢も素晴らしいと思います。近隣住民の一人として、子どもたちはもちろん大切ですが、まずスタッフの健康第一を考え、頑張りすぎず、持続可能な園の運営に努めて頂くことを願っています。幼稚園は、直接、子や孫のいない近隣住民にとっては、ある意味、近くて遠い存在でもあります。白杵小学校や東中は、「学校だより」（紙面）を通して、季節に応じた活動の様子を地区の市報配布に合わせ、月末、区長宅に届けてくれます。そして「回覧板」（各組に回覧）で全戸に見せて、具体的な活動の様子を知らせ、関心を深めてもらう活動をしています。年配者は、ホームページ・・・とはいきませんので、このようなことも考えてみてはいかがでしょうか。

### 3.近隣の中学校長先生（東中学校 亀井一寿）

朝の暗いうちから、園舎周辺に水をまき、消毒作業をして職員・園児の出勤・登園の準備をしている園長先生。保護者に連れられて登園した子どもたちはキリスト・マリア像に手を合わせ、祈りをささげた後、「おはようございます」元気な挨拶を交わしながら保育士さんが迎え保護者と会話の中で様子を確認しながら園舎に入って行く子どもたち。いつ園をおじゃましても子どもたちは元気に庭を走り回り、ブランコで遊び、そこには先生の姿があります。毎日のきちんとした園の姿勢と明るい園の様子が

安心して任せられる白杵カトリック幼稚園だと感じます。先日、東中学校の中学 1 年生にゲストティーチャーとして 2 名の保育士さんが来校しお話をしてくれました。明るくはきはきとした様子と幼児教育の様子が本当によくわかりました。家庭ではなかなかできないしつけや教育をカトリック幼稚園は幼児教育の理念を持って行っている素晴らしい幼稚園だと感じます。可愛い子どもたち。ありがとうございます。

#### 4.隣接する教会関係者（足立孝子）

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、あらゆる行事の見直し、安全面での配慮など、大変な事が多かった事だと推測します。秋に行われた「聖母フェスタ」には、教会からもコーナーを設けて例年参加させて頂いております。今年度は、人数制限もされ規模も縮小し、食べ物の販売もありませんでしたが、多くの子ども達の喜びの顔を見る事が出来て、私達とも良い交流が出来ました。これも中止するのではなく、どう工夫すれば子どもの成長に繋がる行事として実施できるかを選択された結果でしょう。又、休園する事なく一年間無事に過ごす事が出来た事も、全職員が心を一つにして取り組まれた結果だと思います。これからも、幼稚園に隣接する教会として、協力し合っていきたいと願っています。